



消防千葉

2022 No.591 令和4年10・11月号

目次

巻頭言 (山武郡市広域行政組合消防長)	2
第173期消防職員初任科卒業式	3・4
令和4年度婦人防火研修会	5
第41回全国消防殉職者慰霊祭	6
第174期消防職員初任科入校式	7
第43回九都県市合同防災訓練	8～10
わが町の消防団 (八街市消防団・浦安市消防団)	11・12
東西南北	13
日々の動き	14



双葉電子工業株式会社 特設消防隊 (茂原市) 長生支部

巻 頭 言

「消防使命達成に向けて」

山武郡市広域行政組合 消防長 内山 真司



山武郡市は、千葉県の東部に位置し、九十九里平野の中央部と両総台地の一部から成りたち、北は印旛、海匝及び香取地域、西は千葉市と接し、更に南は長生地域に連なり、東方一帯は太平洋に面しております。

地形は、ほぼ矩形をなし、西高東低で南西部から北西部にかけては標高40mから100mの両総台地で、東方一帯は九十九里海岸の弓状の長浜に続く平野となっております。

江戸時代には、徳川家康の命により現在の東金市辺りで鷹狩りを催すため、東金御殿が建築されるとともに、船橋から一直線の御成街道や海岸まで通じる御成新道が建設され、鷹狩りのみならず、物資運搬路としての役目も果たし、古くから九十九里の海産物や上総木綿などの物資の問屋町として発展し、上総の黄金町と呼ばれていました。

山武郡市広域行政組合消防本部は、昭和42年4月に発足した職員30余名の東金市消防本部を前身として、昭和48年4月に1市6町1村で構成する組合消防へ移行し、平成18年の市町村合併を経て、現在、条例定数278名、1本部3消防署3分署1出張所の体制で、面積361.67平方キロメートル、人口176,506人（令和4年4月1日現在）の3市2町を管轄しております。

さて、ここ10年間、消防力及び消防救急活動体制の充実強化に取り組み、特に大規模災害等発生時において災害応急対策拠点として機能を維持することができるよう老朽化した消防庁舎の整備を喫緊の課題とし、現在、最後の消防庁舎の移転新築整備事業を進めているところです。

また、団塊世代の大量退職による消防力の低下を防ぐため、新規採用職員に対しては、知識・技術の習得、体力の向上及び協働精神の醸成等を図る目的で、消防本部において2か月間の集合研修、その後、配属先での4か月間の職場内研修を実施してまいりました。

更には、消防隊の消防活動能力の底上げを図るため、競技会形式で実火災を想定した警防技術練成会や濃煙熱気実火災訓練施設を整備し、屋内進入による消火活動等の訓練を実施するなどの人材育成にも取り組んできたところです。

今後、更なる継続した人材育成の強化を図るとともに、少子高齢化、核家族化の進展に伴う救急需要の増加に対する円滑な救急搬送体制の確立を目指してまいります。

結びに、近年、自然災害が激甚化、頻発化し、また首都直下地震や南海トラフ地震の発生が懸念される中、解決すべき様々な課題に真摯に取り組み、その一つ一つの積み重ねこそが、複雑多様化する災害への消防力強化の礎になるものと考えております。今後も引き続き住民の安全安心を守るため、全職員が消防使命達成に向けて全力で取り組んでまいります。

第173期消防職員初任科生卒業式

千葉県消防学校

令和4年9月15日(木)、千葉県消防学校大講堂において消防職員初任科第173期の卒業式が行われました。

4月6日の入校から6か月、29所属169名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、参加者全員がマスクを着用中、厳粛に執り行われ、国歌演奏の後、卒業生の氏名が点呼され、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け優秀賞8名、努力賞15名の表彰と卒業生全員に記念品が贈呈されました。

その後、小平千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事(代理生稲防災危機管理部長)、千葉県消防協会長(代理芝岸副会長)、白井千葉県消防長会長の祝辞に続き卒業生を代表して市川市消防局の瀧田裕司君から答辞が述べられ、最後に校歌が演奏され無事終了しました。



卒業生答辞 (市川市消防局 瀧田裕司君)



小平学校長告辞



千葉県知事(代理 生稲防災危機管理部長) 祝辞



消防協会長(代理 芝岸副会長) 祝辞



白井消防長会長祝辞

また、13日（火）には、教育訓練の成果を確認するため、9時30分から消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、体力向上体操、機器取扱い訓練、救急訓練、救助訓練、最後には火災防ぎょ活動の部隊行動を基本として、救出訓練と一斉放水訓練を実施し初任科で習得した消防活動・救急活動の集大成として、全員により、総合活動訓練を披露しました。



学生集合



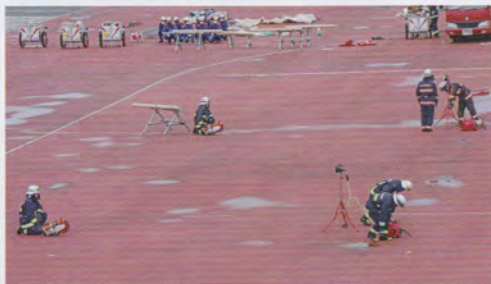
通常点検



小隊訓練



体力向上体操



機器取扱い訓練



救急訓練



救助訓練



総合活動訓練



総合活動訓練



一斉放水訓練

令和4年度「婦人防火研修会」を開催して

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 竹内 久子

令和4年9月7日、コロナ禍の中、感染対策を図り規模を縮小して消防学校講堂で「婦人防火研修会」を開催致しました。昭和61年結成以来、昭和・平成・令和と回を重ねる事36回目の研修会になりました。これも偏に、消防・防災関係者を始めクラブ員のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

初めに主催者挨拶、千葉県消防協会兼千葉県少年婦人防火委員会の石橋 毅会長と千葉県婦人防火クラブ連絡協議会の竹内久子会長からご挨拶申し上げ、つぎに来賓の千葉県消防学校の小平泰造校長のご紹介に続き、(一財)日本防火・防災協会の秋本敏文会長からの祝電が披露されました。

引き続き「住宅防火対策」について、竹内久子会長の講話を致しました。

総務省消防庁発表 令和3年度版消防白書を元に説明

- ① 総出火件数 35,077件 前年同期より386件増加おおよそ1日あたり96件、15分ごとに1件の火災が発生
- ② 総死者数 1,400人 前年同期より74人増加
- ③ 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く）数 913人前年同期より14人増加、65歳以上高齢者は682人(74.7%)前期より37人増加
- ④ 住宅火災における死者の発生した経過別死者数 1位「逃げ遅れ」447人
2位「着衣着火」36人、3位「出火後再進入」10人、4位「その他」420人
- ⑤ 出火原因 1位「たばこ」3,017件、2位「たきび」2,725件、3位「こんろ」2,667件
4位「放火」2,305件、5位「電気機器」1,799件
- ⑥ 住宅用火災警報器設置義務化から10年を迎えたことから老朽化、交換について
- ⑦ 最後に住宅防火いのちを守る「10」のポイントを説明しました

次に松戸市虹の街女性防火クラブから令和3年度活動内容発表

- 1、松戸市の概要
- 2、松戸市幼少年女性防火委員会
- 3、虹の街女性防火クラブの活動
- 4、今後の活動

地域住民一人一人が意識を高め、災害への心構えや、いざという時の備えができるよう、今後も活動してまいります。

午後からは、八街市危機管理監の内田 豪氏からの「地域防災力の向上を目指して」と題してご講演を拝聴しました。

- 1、「近年の自然災害」と「防災の基本的考え方」
- 2、「自分たちが住むまちの災害リスク」と「住民の防災意識」
- 3、「地域防災力の重要性」と「自主防災組織の活動」

事前に50枚にも及ぶ資料が配布され、正面に大きなスクリーンと左右にもプロジェクターの画像が映し出され、参加者に配慮された研修会場でした。

90分に渡り、詳しくご説明いただきました。眠気を感じさせないテンポでご講演して皆さん真剣な表情で拝聴していました。

研修会後のアンケート結果

- *研修会場が広く、感染対策が万全で安心して参加できた。
- *地震への備え、対処方法、わかっている事でも何回も聞く事で参考になる。
- *大変参考になり有意義な時間を過ごせた。
- *火災原因の1位が「たばこ」と言う事に驚いた。
- *クラブ発表が参考になった。

等、他にも沢山のご意見をいただき有り難うございました。

終わりに、開催に当たりご協力いただきました(公財)千葉県消防協会、千葉県消防学校(一財)日本防火・防災協会及びご参加いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

コロナ禍の中無事、盛会裏に終了出来ました事に御礼申し上げます。



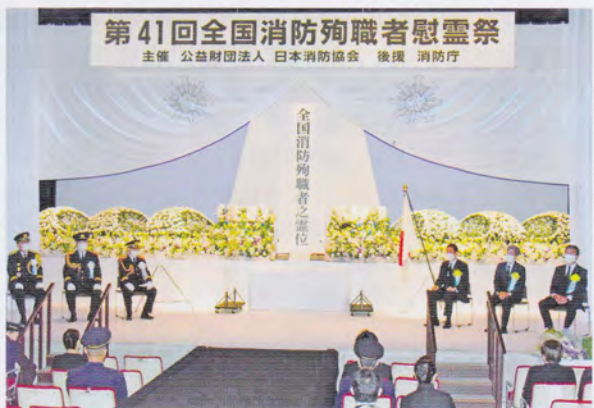
第41回 全国消防殉職者慰霊祭

令和4年9月15日(木)、「第41回全国消防殉職者慰霊祭」が日本消防会館ニッショーホールで殉職者遺族、各県の消防協会関係者等の出席により執り行われました。

昭和23年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃え、全国の消防職団員による地域に根ざした防災活動の展開のなかで、残念なことに毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は新たに合祀した8柱を加えて5,784柱を数えております。

式では秋本敏文日本消防協会長の式辞、岸田内閣総理大臣、寺田総務大臣及び遺族代表の追悼のことは、参列者の皆様の献花が行われた後、鎮魂の歌(木遣り)が捧げられました。

千葉県からは遺族の方1名と千葉県消防協会長、千葉県消防協会常務理事及び山武市の職員の4名が参加しました。



式辞を述べる秋本日本消防協会長



岸田内閣総理大臣の追悼のことは



寺田総務大臣の追悼のことは



御遺族の献花

第174期 消防職員初任科生入校式 千葉県消防学校

令和4年10月4日(火)、千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第174期の入校式が行われ、28所属145名の若々しい学生が入校しました。

これから6か月間の厳しい研修が始まります。当日は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、参加者全員がマスクを着用する中開式のことば、国歌演奏、入校生指名点呼に続いて小平学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事(代理 添谷地域防災担当部長)、消防協会長(代理 芝岸副会長)、消防長会長(代理 須藤副会長)からの祝辞がありました。

続いて、入校生代表(富里市消防本部 金田力哉君)からの宣誓が行われ、研修に励んで一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。



入校生宣誓(富里市消防本部 金田力哉君)



小平学校長の式辞



知事(代理 添谷地域防災担当部長)の祝辞



消防協会長(代理 芝岸副会長)の祝辞



消防長会長(代理 須藤副会長)の祝辞

第43回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

大規模な地震災害を想定し、県や市、各防災機関が連携した救出救助や、自主防災組織を中心とした避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の心得などを啓発する場を設け、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、県民の防災意識の高揚を図るとともに、地域の防災力の向上を目的とするものです。

訓練は、新型コロナウイルス感染症等の感染状況を踏まえ、「3密の回避」「マスク着用」「ソーシャルディスタンスの確保」など基本的事項に配慮した感染防止対策のなか実施されました。

訓練概要

1 実施日時・場所

令和4年10月23日（日） 9：00～14：00

- (1) 防災フェスタ・災害ボランティアセンター設置運営訓練他
大網白里アリーナ
- (2) ライフライン等応急復旧訓練・救出救助実動訓練
白里海岸市営駐車場
- (3) 避難所運営訓練・応急給食訓練 他：市立増穂北小学校
- (4) 津波避難訓練・孤立避難者救助訓練
津波避難ビル・津波避難タワー、津波避難築山他
- (5) 応急救護所等設置運営訓練
市立大網病院、山武郡市広域行政組合消防本部南消防署



熊谷知事講評

2 主 催

千葉県、大網白里市、公益財団法人千葉県消防協会

3 訓練規模

参加機関（団体） 約100機関、参加人数 約3,000名

4 想定地震

千葉県東方沖を震源とする大きな地震が発生し、大網白里市では震度6強を記録するとともに建物倒壊や道路損壊が発生し、ライフライン機能も麻痺している。また、この地震に伴い、沿岸部で大津波が襲来し、沿岸部の建物倒壊が著しい。

住民は、地震の発生、津波警報の発表に伴い、内陸部への避難及び津波避難ビル、津波避難タワー、津波避難築山等の避難施設に避難を実施した。



佐野県議会議長挨拶

5 今回の訓練の特徴

- (1) 自助、共助に主眼を置き、地域住民主体の訓練や、防災意識を高めるための普及啓発を強化し実施する。
- (2) 地域特性から津波災害に対応した訓練を実施する。
- (3) 防災関係機関、行政機関の連携を強化する訓練を実施する。
- (4) 過去の災害の課題に対応した訓練を実施する。

6 訓練の状況



防災フェスタ①



防災フェスタ②



防災フェスタ③



電力復旧訓練



ガス復旧訓練



水道復旧訓練



電話通信復旧訓練



仮設信号機設置訓練



倒壊家屋からの救出救助訓練



流出車両からの救出救助訓練



特殊車両による瓦礫走破



消防団による火災防御訓練



洋上救出救助訓練



応急救護所設置



津波避難訓練



孤立避難者救助訓練



避難所設置訓練



避難所運営訓練



シェイクアウト訓練



災害ボランティアセンター設置運営訓練

わが町の消防団 ① 八街市消防団

八街市は、千葉県北部のほぼ中央に位置し、東京から50km圏内、成田国際空港から10km圏内、千葉市から20km圏内という立地で、面積は74.94km²です。市域は、南北に長く、大部分は平坦な台地にあります。市中央は、市街地を形成し、周囲に畑作地帯が広がり、周辺の低地に谷津田など水田地帯もみられ、緑豊かな環境にあります。

「八街」という名は、明治初期に始まった小金、佐倉両牧の開墾、その着手が8番目だったことにちなんでつけられた字名であり、明治5年に八街村として誕生しました。大正8年の町制施行により、八街村は八街町となり昭和29年に八街町と川上村が合併、そして平成4年、市制施行により千葉県で30番目の市として八街市が誕生し、現在に至っています。

八街市の消防団は、成岡団長以下、団本部を中心とした25ヶ分団、令和4年4月1日現在342名の編成で消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ積載車20台と消防団指揮車2台の合計27台の消防用車両を配備しています。

各消防団員は、消防団の基本理念である「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識をもって、地域防災体制の中核的存在として、昼夜を問わず消防活動に励んでいます。



消防団の主な年間事業としては、4月の新入団者入団式、5月には市内にある自動車教習所を使用した緊急走行訓練、9月の普通救命講習会、11月には消火活動を円滑に実施するための消防実技訓練、12月の歳末警戒、年明け1月の出初式など実施しているところです。

近年の社会環境や就業構造の変化等により、全国的に消防団員が減少傾向にあるなか、当市においても消防団員の確保に非常に苦慮しています。そこで、サラリーマン等が勤めに行く日中の消防団活動を補完するものとして、平成28年度に機能別団員制度を導入しました。また、消火作業などのハード面だけでなく、火災予防広報、応急手当の普及等のソフト面での活動を強化するため、女性消防団員の募集を行い、現在10名の女性団員が所属しています。消防団は地域防災体制の中核的存在として、大きな役割を果たすことが期待されていることから、今後もさらなる団員確保を図り、消防団活動が地域住民に十分理解していただくためにも、消防団の必要性を広くPRすることが必要であると考えています。



わが町の消防団 ②

浦安市消防団

浦安市は、千葉県北西部に位置し、17.3平方キロメートルの県内で一番小さいまちです。テーマパーク、大型リゾートホテルや商業施設があり国際色豊かなまちと知られ、国際会議観光都市としても認定されております。

本市の消防団は、令和4年10月現在、85名（団本部・4個分団・団本部付少年消防団指導員）で構成されており、7台の消防ポンプ自動車（CD-I型）、3台の資器材搬送車及び広報車を配備し活動をしています。

令和元年10月より、今般の多種多様な災害に対応すべく地域防災の要である消防団として再編成を行い、受け持ち区域を浦安市全域に広げ、地域に見合った都市型消防団として大規模災害を見据えた防災活動へと取り組みを開始しました。4個分団で編成されるうちの一つ、女性分団については令和4年度より、災害現場での後方支援部隊としての訓練を開始し、広報活動や啓発活動に加え積極的な活動を行っています。

浦安市消防団は伝統を受け継ぎ、建物火災発生時は常備消防と同時期に出場する第1出場としているため、その任務の重要性から定期的に消防署・消防団合同訓練を実施しています。時代とともに変化をする建物構造に対応するために、新たな火災防御訓練、近年多発する水災害に対しての水難救助訓練、災害対応訓練と幅広く実施しています。



また、将来の地域防災の担い手育成を目的とした、浦安市少年消防団は、平成24年度の発足から第11期生を迎え入れるまでになりました。近年の新型コロナウイルス感染症の影響により従来の活動が困難ですが、この様な状況でも学びを止めてはいけないと、感染症対策を徹底し可能な限り消防職団員を指導員として、継続して活動しています。

全国的にも消防団員が減少傾向となり、浦安市でも団員確保が困難ななか、団員による各分団アカウントでのSNSによる情報発信、地元企業の協力を得て入団促進ラッピングバスや地元有名漫画家の協力による団員募集ポスターの作成・掲示など、幅広い世代に向けて積極的なアピール活動を展開しております。

今後も、“浦安市の安全と安心を守るために”をモットーに、地域防災の要として団員一丸となり活動をしてまいります。

東 西 南 北

東 西 南 北 水害に備え水防演習を実施 野田市消防本部

野田市消防本部では、5月8日(日)、利根川河川敷において、水防体制に万全を期すことを目的とした水防演習を実施しました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催した本演習には、消防職・団員等総勢466名が参加し、台風の襲来で河川のはん濫危険が高まったとの訓練想定の下、様々な工法を駆使して実践的な訓練を行いました。

江戸川、利根川に挟まれた地域特性からも、水災害による被害の軽減を図るため、今後も訓練を継続するとともに、各関係機関と連携して水防工法技術の維持・向上を図ってまいります。



東 西 南 北 消防団機関運用訓練を実施 野田市消防団

野田市消防団では、令和4年4月24日に4方面224名の団員が参加して「消防団機関運用訓練」を実施しました。訓練は、消火活動における基本的な消防ポンプ運用技術を習得し、活動時の的確な行動と安全の確保を目的に実施しました。

訓練内容は、ポンプの取扱い、無圧及び有圧水利からの吸水、中継送水や放水要領について行い、特に中継送水訓練は普段行う機会の少ない訓練であることから有意義な訓練となりました。今後も機関運用訓練以外の訓練についても実施し、消防団の災害対応力の向上を図ってまいります。



東 西 南 北 新規採用職員消防長査閲を実施 流山市消防本部

流山市消防本部では、令和4年5月12日(木)に令和4年度新規採用者の「消防長査閲」を実施しました。

17年ぶりに採用した女性職員2名を含めた新規採用者20名が各種災害現場で活動するための知識や技能等を学ぶ教育訓練を4月5日(火)から約1か月間実施し、その訓練成果を消防長へ披露しました。

規律訓練、防火衣着訓練、空気呼吸器着訓練等の基本的な訓練を行い、最後に火災防ぎょ想定訓練を実施しました。

20名は、今回の消防長査閲で現場活動での基本的な動作を学び、その後市内4か所の消防署へ配属され、消防士としての第一歩を歩みだしました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和4年11月

- 11月 15日 第58回消防殉職者慰霊祭(千葉県消防学校)
 19日・20日 消防団員指導員研修(千葉県消防学校)
 22日 第27回全国女性消防団員活性化徳島大会(徳島市)

2022年度 全国統一防火標語
「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

令和4年秋季全国火災予防運動

11月9日(水)から11月15日(火)までの7日間

- 【重点目標】
- ①住宅防火対策の推進
 - ②乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
 - ③木造飲食店等が密集する地域に対する防火指導の推進
 - ④放火火災防止対策の推進
 - ⑤特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ⑥製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - ⑦多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

<表紙の説明>

双葉電子工業株式会社 特設消防隊（茂原市）長生支部

双葉電子工業株式会社では特設消防隊を組織しており、今年で創設55年を迎えました。

消防隊員は45名（内、女性3名）となっており、月2回、消火訓練及び機器の点検等を行っております。

火災発生時には社内だけでなく、近隣の消火活動にも出動しており、昨年度15回今年度も8回出動しております。

また、社内には消防車を5台配備しております。写真の車両は平成8年製の水槽付ポンプ車となっており、同社は、永きに亘り地域の防火活動に尽力されております。

